



パワーアンプ内蔵フルレンジ モニタースピーカー

JM-50S

コニシス

本体価格 ¥98,000 ペア

オーラトーンを彷彿とさせる密閉キューブ型

レコーディングスタジオをはじめとするプロ用音響機器を手がけてきたコニシス研究所は1990年に設立。本年度30周年を迎える歴史あるブランドだ。その歴史の中ではプロ用だけではなく、ヴィンテージパーツを用いたコンシューマ向けのハイエンドブリ&パワーアンプの開発に携わるなど、幅広い分野での製品展開を行っている。小西浩次社長はコニシス研究所設立以前よりスタジオ機器開発に携わっているが、そのキャリアを含め40年におよぶ歳月の中で育まれた製品開発のノウハウを生かして設計されたのが、新製品となるコンパクトモニタースピーカーJM-50Sだ。

コニシス研究所ではこれまでもスピーカー製品を手がけているが、プロ分野においてはパワーアンプを内蔵したアクティブ型を展開している。直近では7cmフルレンジユニットを用いたJM-10が存在するが、今回のJM-50Sも含め、かつてスタジオモニターとして世界的に知られた、オーラトーン5Cを彷彿とさせる密閉方式のキューブ型エンクロージャーを取り入れている点が特徴の一つだ。ミキサー卓上のわずかなスペースでも問題なく設置できること、そしてバスレフポートの位置を気にすることもなく、位相表現も的確に判別できることから、フルレンジユニットを使ったキューブ型モ

ニターは重宝される。また昨今ではパーソナル環境での音楽制作が増えてきたので、ブックシェルフ型よりもコンパクトな製品を求める時代ならではのニーズも高い。

アルミ製エンクロージャーにパワーアンプを内蔵

JM-50Sはエンクロージャーにモノコック構造のアルミ材を採用。木材や樹脂素材では抑え込むのが難しい共振や歪みを減少させるとともに、板材の厚みを薄くできることで、木材や樹脂系で同一サイズの筐体とした場合に比べ、補強材の必要もなく内容積を増やすことができる。筐体内部の反射については最小限の吸音材を適切に配置し、影響を抑えているという。さらに、筐体そのものが内蔵アンプのヒートシンクとして使用できる利点もある。

3社4製品を比較試聴する中で、フォスター電機製10cmフルレンジユニットを選択。エンクロージャーのサイズや、AB級フルディスクリットDCアンプ構成を取り入れた内蔵アンプの仕様もこのユニットに合わせた設計としている。内蔵アンプは同社のハイエンドモデルCL-1などで取り入れられているディスクリットパーツによる2段差動増幅、さらにバイポーラ



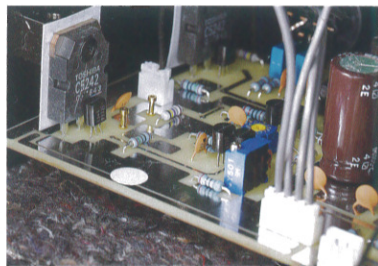
アルミ製エンクロージャーにスイッチング電源とアナログパワーアンプを収めている。吸音材は粗毛フェルト

ートランジスターによるプッシュプル出力段を用いたDCアン
プを採用。初段はFETによる定電流、最終段はダーリントン
方式で、BTL駆動によってコンパクト機ながら40Wの出力
を実現している。この駆動力を支えるため、電源部には最新
型のスイッチング電源を導入した。IEC インレットを装備し、
AC85~135Vまでの入力に対応する。入力端子はXLRバ
ランスが1系統用意され、背面パネル側にレベルトリムも設け
られている。

(岩井 喬)



入力端子はXLRで2番HOT。基準
レベルは+4dBm



バイポーラートランジスターによる出力段を
持つディスクリット構成のDCパワーアンプ
を2台、BTL接続で使用している



ユニットはフォスター電機製の10cmフルレンジ。
バツフル板もアルミ製

Specification

- 周波数特性：80Hz~16kHz
- 内蔵パワーアンプ出力：40W
- 入力インピーダンス：20kΩ バランス
- 入力レベル：+4dB 推奨
- 寸法・重量：150W×150H×160Dmm・約3kg
- 資料請求先：

株式会社コニシス研究所 MJ6係

〒144-0044 東京都大田区本羽田2-12-2 ウイングハイツ703

TEL.03-5735-0750 <https://www.conisis.com/>

SOUND CHECK



「シベリウス&ウォルトン：
ヴァイオリン協奏曲
／諏訪内晶子」
ユニバーサル
UCGD-9007

バランスを重視した スムーズなサウンド

小口径フルレンジならではの点音源再生を
実現しており、音像の定位や動きが手に取るよ
うにわかる。金属筐体による密閉型構造と相
まって、ローエンドのダンピングも高く、低音
の階調性、音場のクリアさ、見通しの深さが際
立つ。オーケストラのパートごとの粒立ちも細
やかで、余韻の再現性、抑揚感も良い。ソロヴ
アイオリンの浮き立ちも潤って爽快だ。素直
な空間性によって音像の佇まいもナチュラル
に描かれ、リヴァーブなどの処理具合も鮮明に
把握できる。ロック音源のリズム隊も密度高
く、アタックの切れも硬くならず適度な厚み
を持つ。シンバルワークも細やかで余韻の響き
も涼やかだ。ピアノのアタックは瑞々しく、低
域方向まで無理なく自然な伸びを見せる。ヴ
ォーカルの定位はセンターで正確に像を結び、
口元の動きもハキハキとして分離がよい。演
奏前のスタジオの空気感、空間性もダイレクト
に描き出してくれる。モニタースピーカーは硬
質な傾向が多いが、本製品はバランス重視で密
度感もよく、スムーズなサウンドを持つ。音像
のディテールも滑らかできつさの少ない高S
／Nなサウンドである。

(岩井 喬)

ダイナミックな振る舞いと 繊細さが同居

創業は1981年、間もなく30周年を迎えよ
うとするコニシス研究所から新しく送り出され
たのが、レコーディングユースをターゲットにし
たパワードモニターJM-50S。ボディーカラー
こそ違うが正方形をしたキューブ型で、ずっと以
前は必ずスタジオで見かけた検聴用のオーラト
ーを思い出した。ついでに音まで甦ってしまっ
たのだが、はたしてJM-50Sからはノスタル
ジックな思いを瞬時に消し去るほどハイファイ
かつ現代的、超クールなサウンドが飛び出した。
10cm径のフルレンジとは思えないダイナミッ
クな振る舞いと繊細さが同居し、加えてスピー
カーから音源が見えそうな透明で雑味のなさが
印象深い。もう一点付け加えておくと、80Hz
16kHzとスベックに書かれた数値は信じがたい
広帯域だが、秀逸なのは無理をして絞り出すよ
うな苦しさや圧縮感をまったく感じない。これ
はモニター用途として大きなアドバンテージに
なる。また、フルレンジだけにソースにある中心
楽器をグイ！と押し出してくるところも得点
は高い。プロユースだけでなく、パーソナルオー
ディオのリファレンス機として備えるのも良い
アイデアだ。

(半澤公一)

Keith Jarrett
Standards, Vol. 2
Gary Peacock
Jack DeJohnette

ECM

『スタンダード Vol. 2
／キース・ジャレット・トリオ』
ECM
POCJ-2413